

企業グループ

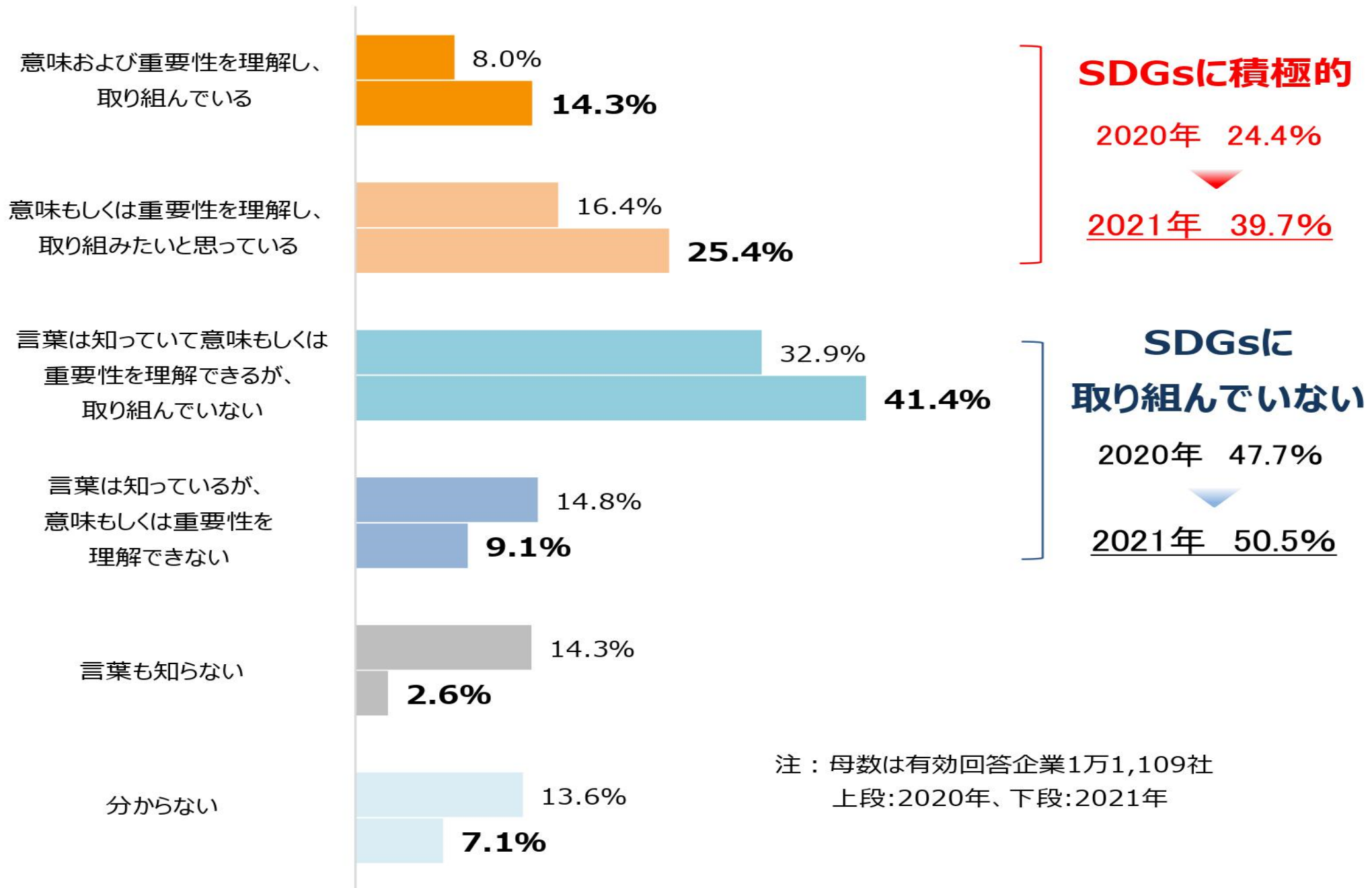
- ▶ 太田明子ビジネス工房 代表 太田明子
- ▶ 株式会社 北翔 代表取締役 清水誓幸



北海道内企業の

SDGsへの関心は高まったか？

SDGs への理解と取り組み



注：母数は有効回答企業1万1,109社
上段:2020年、下段:2021年

規模別の意識

SDGs に対する企業の意識 ~規模別~

■ 積極的 ■ 取り組んでいない ■ 言葉も知らない ■ 分からない

大企業

55.1%

37.3%

中小企業

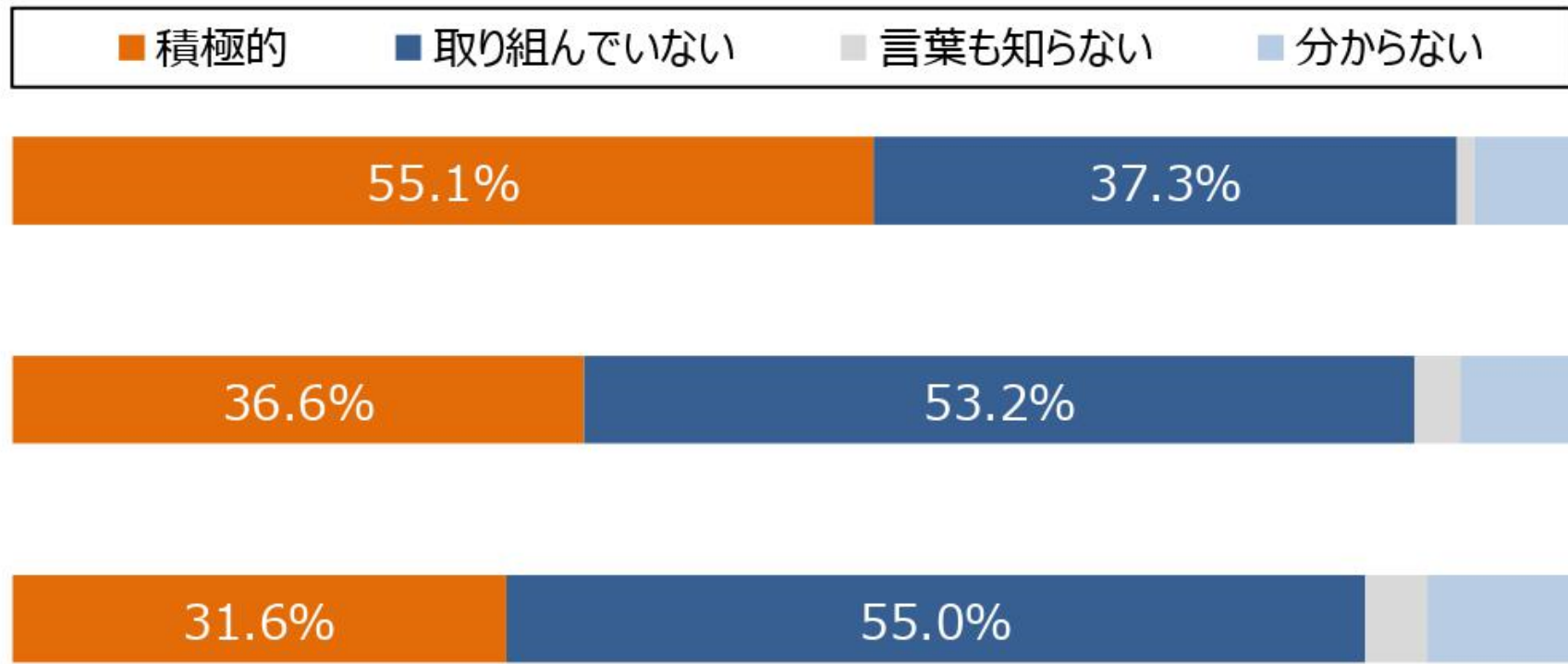
36.6%

53.2%

小規模企業

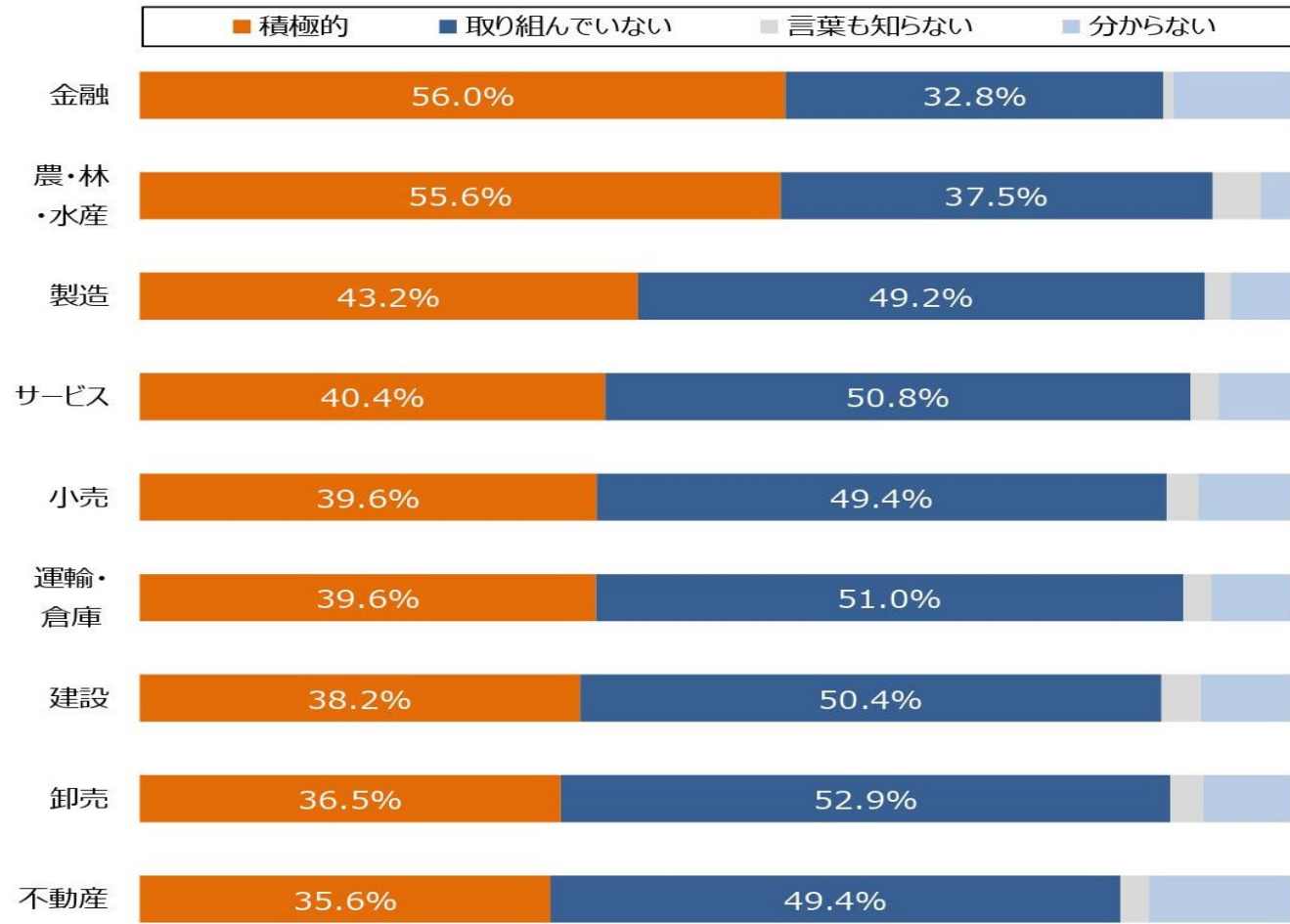
31.6%

55.0%



業界別の意識

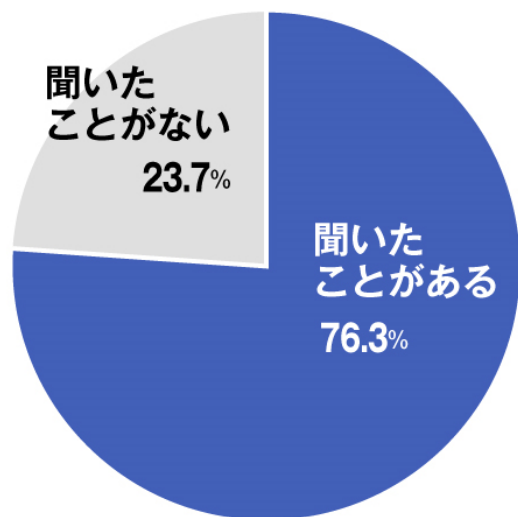
SDGs に対する企業の意識 ~業界別~



では 市民はどうなのか？

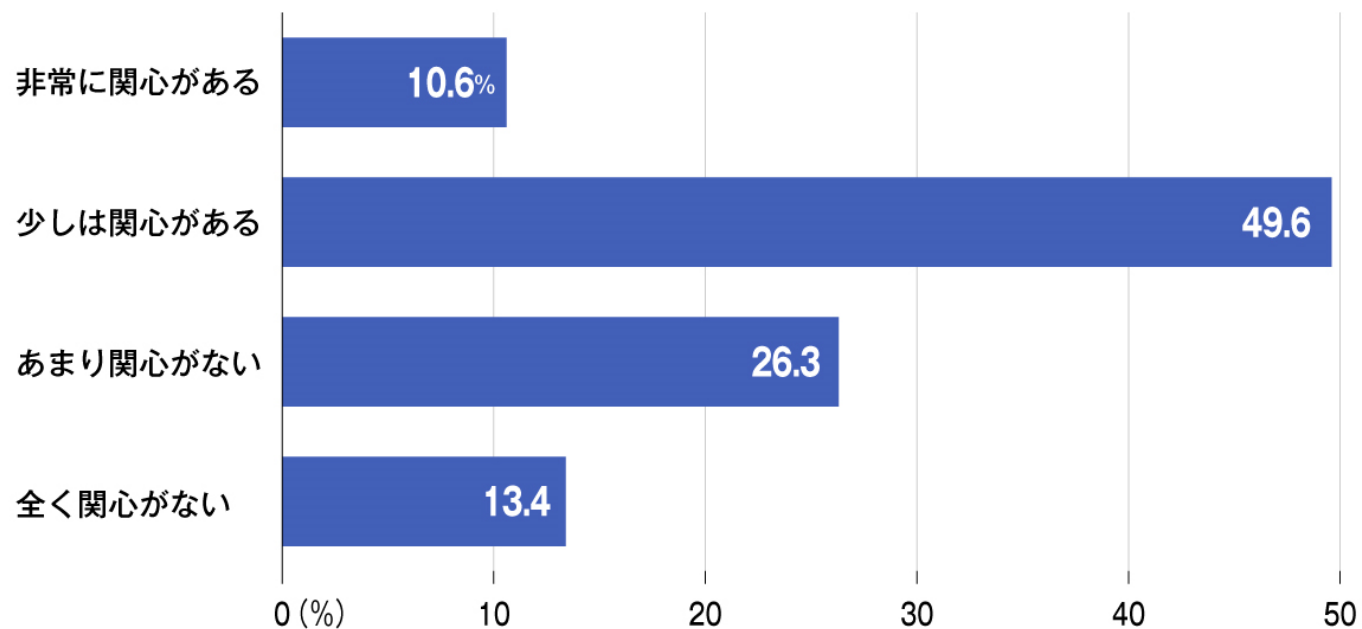
あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか

全体 (n=5000)

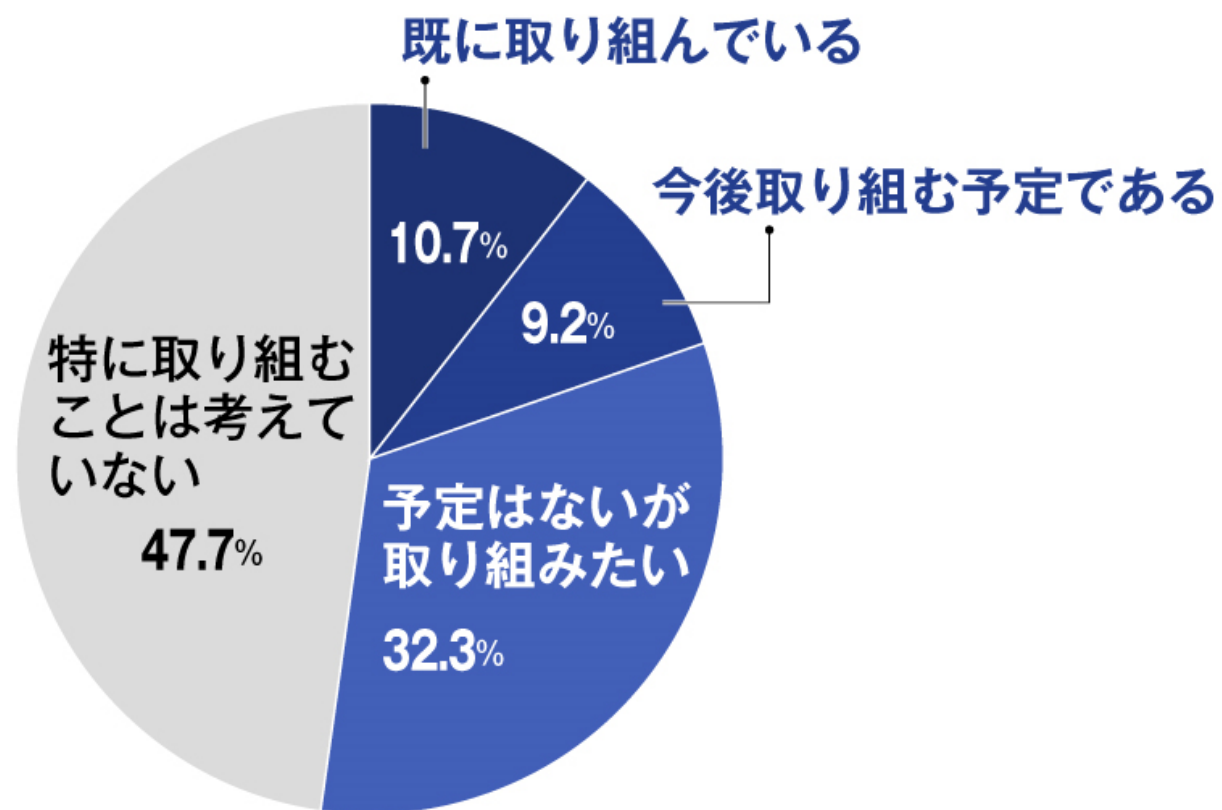


あなたはSDGsにどの程度関心がありますか

※n=3816 ※「SDGs」という言葉を聞いたことがあると答えた人が回答



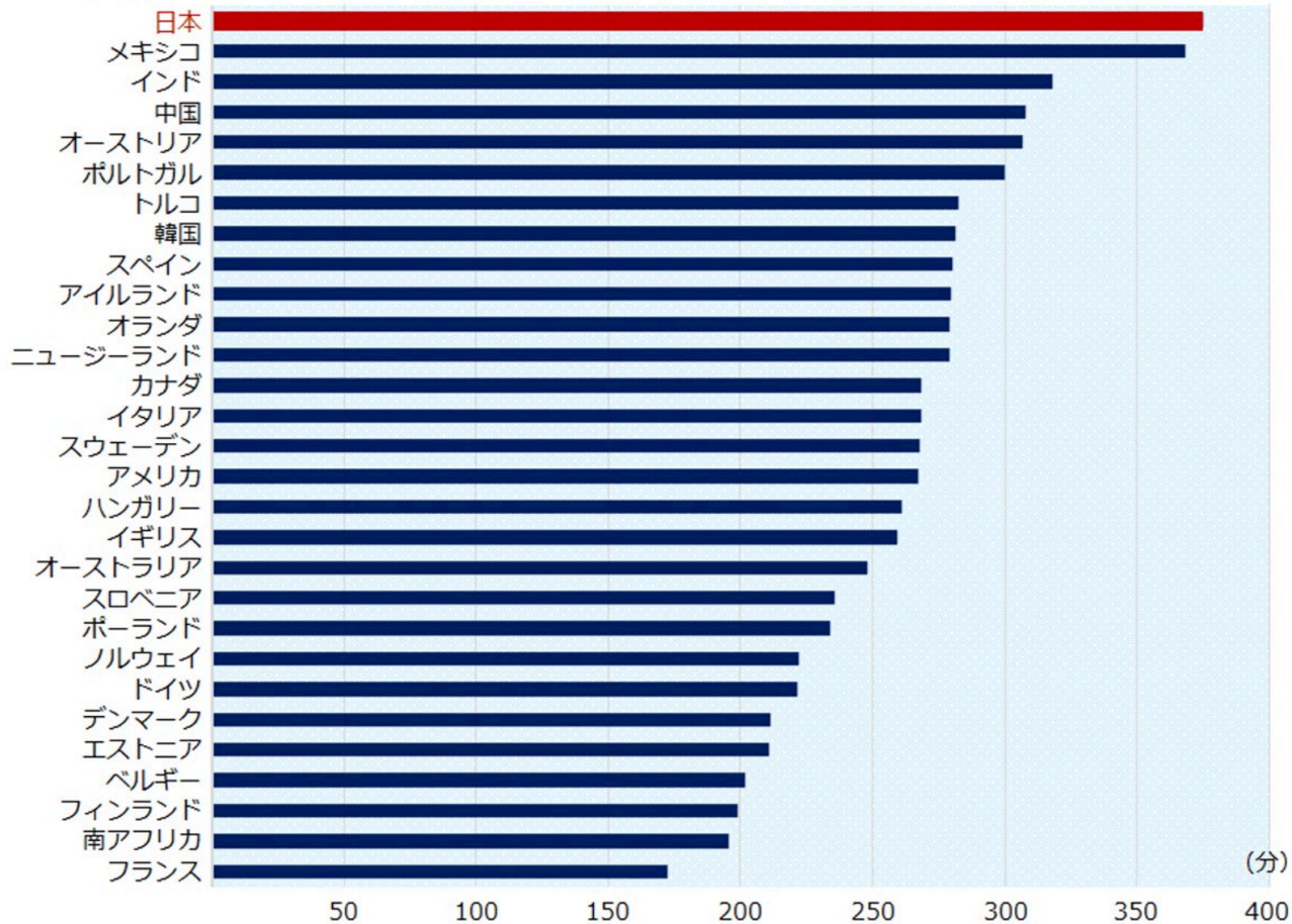
SDGsに関する取り組みを、企業や団体、または個人として行っていますか。
または、今後取り組みたいと思いますか ※n=5000



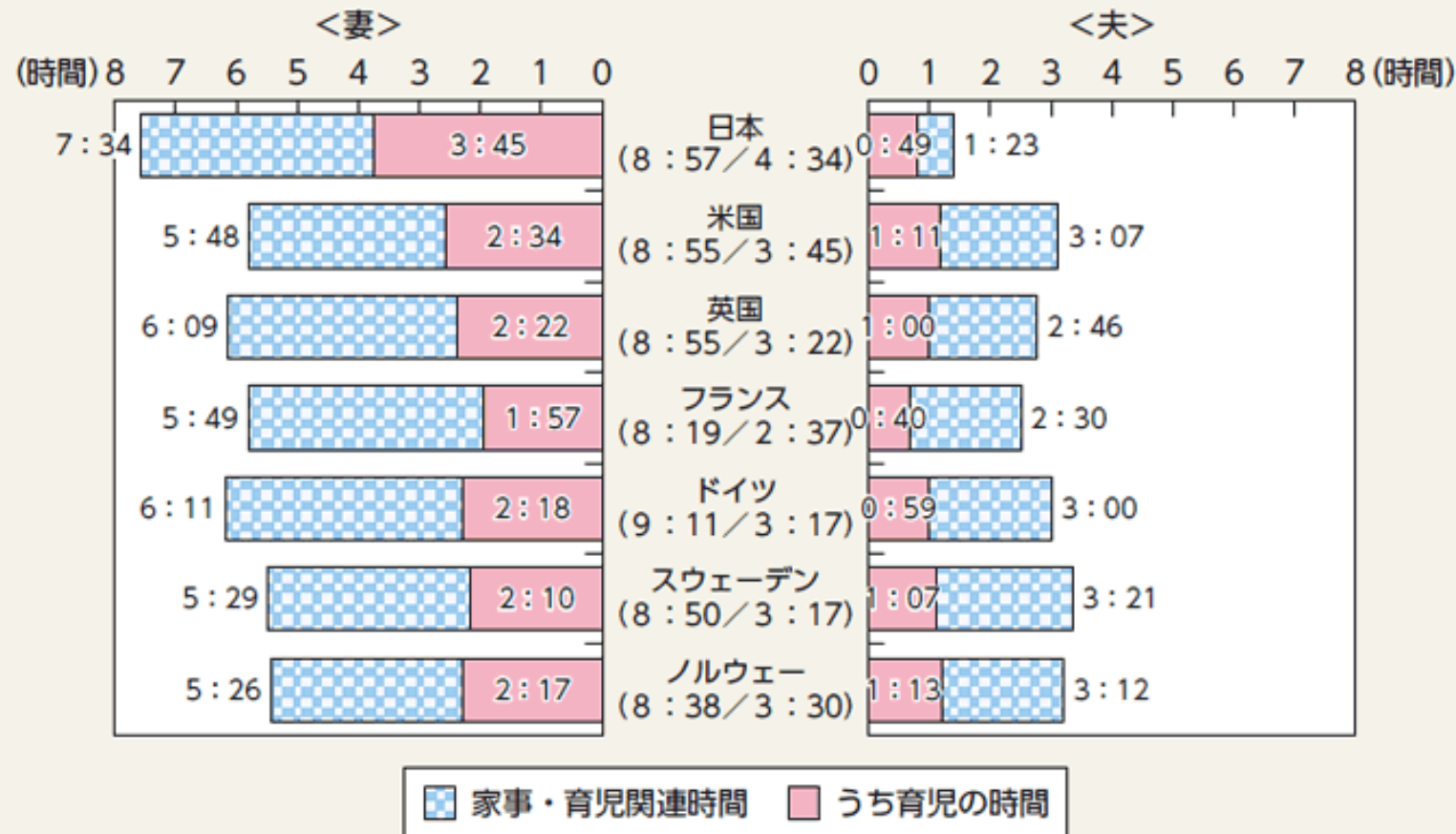
日本人の労働時間と賃金

- ▶ 年間労働時間 1598時間 世界24位
- ▶ 正規雇用者の年間労働時間 2018時間 420時間多い
- ▶ 短時間労働者 1093時間 925時間の差
- ▶ 男性単体の労働時間 世界1位
- ▶ 平均通勤時間 片道 39分 往復 1時間18分
- ▶ 賃金 先進国の中で唯一 20年間でマイナス

男性1日当たりの平均労働時間（休日も含む・2014年発表データ）



図表 2-2 6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（週全体平均）（1日当たり、国際比較）



- (備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成28年), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2018) 及びEurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。
2. 日本の値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体平均)。
3. 国名の下に記載している時間は、左側が「家事・育児関連時間」の夫と妻の時間を合わせた時間。右側が「うち育児の時間」の夫と妻の時間を合わせた時間。

男性の働き方を変えなければ！

- ▶ 社会課題への関心が深まらないのでは？
(企業がSDGsへの号令かけても、無関心・・・)
- ▶ 家事・育児は妻任せで良いのか？
(出産後の夫婦による鬱は増えている)
- ▶ 賃金も上がらず 非正規雇用などでワーキングプアも増えている

話題は変わるが

- ▶ SDGsに対する企業の関心度も取組も広がっている
- ▶ しかし、トレードオフもSDGsウォッシュも同時に発生している
- ▶ これに対して何処も誰も 「評価」 していない
- ▶ このまま 「SDGsやっています！」 の表現で良いのか？ ？ ？
- ▶ 疑問を感じている・・・

▶ 建設業でも脱炭素推進 発注工事に新制度 開発局、道、札幌 4月から

▶ 開発局と道、札幌市は4月、3者が発注する工事で燃費効率の良い重機や再生可能エネルギーの利用など脱炭素の取り組みを行った業者を、翌年度の入札で優遇する制度を導入する。行政が主導して公共工事で脱炭素を促すことで、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「カーボンニュートラル」の取り組みを建設現場で普及させる狙いだ。

この様な動きに 「不安」 感じませんか？

私たちはど
のような企
業を目指す
のか。

- ▶ 社会の多様性に応じて変革し続ける 企業
- ▶ 社会や社会活動の循環の中で、自社の起つ位置を強く持つ企業
- ▶ 事業が社会課題の解決につながる取組を行う企業
- ▶ フェアな取引が常識の企業
- ▶ 社会の全ての人に向き合い、ダイバーシティ化インクルーシブ化を図る企業
- ▶ 人の豊かさを追求し続ける企業